5 長野県

小さい町だから出来る ～町民と図書館のいい関係～

小布施町教育委員会 教育次長
（図書館長兼務） 三輪 茂

小布施町ってどこ？

小布施町は長野県の北部に位置し、「牛に引かれて善光寺参り」で有名な長野市の善光寺から車で30～40分で到着します。町域は19㎢、長野県内で面積が一番小さい自治体で約11000人が住む町です。役場を中心に半径2㎞の円を描けば全ての集落が入り、小学校1校、中学校1校でお互いの顔が見える、ほど良いコミュニティが保たれています。

江戸時代後期、浮世絵師の葛飾北斎が80歳を超えてから度々小布施を訪れ、町内に多くの肉筆画や天井絵を残しました。北斎の肉筆画を展示した「北斎館」や、景観を大切にした町並み、花のまちづくりなどとも相まって、年間100万人を超える来訪者で賑わう町になっています。

小布施町立図書館について

1 図書館の歴史

大正12年に村民（当時は小布施村）からの寄付や寄贈で、長野県下では9番目の公共図書館として開館しました。その後移転を繰り返し、昭和54年に役場庁舎が新設されたときに、庁舎の3階に図書館が置かれました。庁舎内という合理性はありましたが、手狭な上にエレベーターもなく利便性に欠け、更には長野県下では電算化が一番遅れてしまったこともあり、独立した建物としての図書館を望む声が聞かれるようになりました。

2 新しい図書館の建設

平成18年「第四次小布施町総合計画・後期基本計画」の重点施策として「図書館の整備・充実と情報サロンとしての活用」が示されました。これに基づいて公募町民をメンバーとした「図書館のあり方検討会」を発足させ、誰にでも親しまれる新しい図書館を目指して検討が始まりました。また、様々な機会をとらえ町民の皆さんから意見や要望などを受ける中で、新しい図書館は「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」を4つの柱とし、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」を運営の理念として建設に向けて動き出し、平成21年7月に竣工・開館しました。

まちとしょテラソ夜景外観

まちとしょテラソって何？

旧図書館は、「町図書」の愛称で親しまれていました。この「町図書」を「まちとしょ」というひらがな表記により、「町」だけではなく「待ち」をイメージさせて、町の図書館であることと、待ち

合わせの場という意味を込めました。

「テラソ」については、「闇夜を照らす行燈のような存在の図書館」という考えがあり、「照らそう」から「テラソ」が生まれ、二つを合わせた「まちとしょテラソ」を新しい図書館の愛称としました。

まちじゅう図書館の取り組み

新しい図書館の４つの柱の一つである「交流の場」の一環として、本を介して人と人をつなぐ、まちじゅう図書館が平成24年から始まりました。まちじゅう図書館は、町内の個人のお宅や酒屋・味噌屋・銀行・郵便局・カフェなどの一角に、仕事に関する本やオーナーの趣味の本を並べ、訪れる人と交流を楽しむというもので現在16館が開館しています。訪れた人と会話を楽しみながら、気に入った本があれば貸したり、プレゼントするオーナーもいます。

まちじゅう図書館のシンボル「オブセドリ」

小布施町では、平成12年から花を介して訪れた人と交流を楽しむオープンガーデンという取り組みを行っています。これは個人のお宅の庭を開放して、自由に中に入って花木などをご覧いただくというもので、約１３０軒のお宅が参加しています。

オープンガーデンの取り組みが町の人たちに定着していたこともあり、まちじゅう図書館の発想や取り組みもスムーズだったのではないかと考えています。小布施町民には、自分で楽しんでいるものをよそ様におすそ分けする、ちょっとお節介な気質が根付いているのかも知れません。

まちじゅう図書館、オープンガーデンともに、オーナーに対して町から補助金などは出ておらず、オーナーの自由な意思により行われています。オーナー会などの組織もなく、実施にあたっての規約など決まりごとの縛りもありません。好きな時に始めて、好きなやり方で、都合が悪ければいつでも止められる緩い取り組みです。オーナー自身が、自分のできる範囲で交流を楽しむことが一番重要なことだと考えており、この緩さがオーナーに支持されているのだと思います。

まちじゅう図書館は、庭を開放するオープンガーデンと違い、訪れた人が建物内に入るということで開館するには課題も多く、躊躇している人もありますが、この課題の解消に向けて町（図書館）も一緒に考え、交流の場、交流の輪をさらに広げていきたいと思います。

何ごともまずはやってみる。問題や課題があれば立ち止まって考える。ダメなら戻ることも止めることも前向きな選択だと思います。それは小回りの利く、小さい町だから出来ることだと考えています。

まちじゅう図書館「かねいちくつろぎサロン」

かねいちくつろぎサロンの蔵書